

# 九州・山口 くらしピックアップ

毎週日曜日に掲載します。  
お気に入りの記事を切り抜いて  
ご活用ください。

読みたいテーマや「みんなのQ」への  
質問をお待ちしています。  
〒810-8581  
読売新聞西部本社  
「くらしピックアップ」係  
ファクス:092-715-5799  
メール:s-pickup@yomiuri.com

きょうのテーマは

## おしぼり人形 宴席に笑い



北九州市小倉北区の飲食店で開かれた「おしぼり人形教室」を訪ねた。指南役は福岡県宗像市の中村泰隆さん(72)。約15人の受講生におしぼりを配り、作り方を手ほどきした。

「皆さん、ようできて。なかなかお上手ですよ」と語りかける中村さんの本業は、北九州市内にあるコンピュータソフト開発会社の会長だ。おしぼり人形は29年前に宴席で取引先の知人から教えてもらい、経済団体の集まりや同窓会の宴席などで披露してきた。

5年ほど前にその人が亡くなったのをきっかけに、芸を引き継ぐと「家元」を名乗り、この店で月1回、教室を開いている。

作り方は簡単だ。おしぼり用タオルをぬらして絞り、テーブルに広げる。両側からくるくる巻いて二つに折り、てびてる坊主を作る。要領で頭を作る。手足をかたどり、両手に割り箸を持たせて輪ゴムで留めれば完成。

左手で人形の背中を持ち、右手で割り箸の先を持って操ると、様々な動作を表現できる。中村さんは唱歌「どんぐりころころ」を口ずさみながら、人形を動かし始めた。「おいけにはまって さあ

## 割り箸、輪ゴムで簡単



●おしぼりと割り箸、輪ゴムで作った人形が、音楽に合わせて生き生きと動き出した  
●月1回の教室で作り方を手ほどきする中村さん(いずれも北九州市小倉北区で)

いへん」のところで割り箸を上げ下げすると、両手も一緒に動き、慌てた感じになる。

「こじょうができて、こんなにちはのくたけでは、人形を座らせて前に倒し、おじぎのしぐさをさせた。おしぼり1枚なのに、まるで生きていっているようなユーモアあふれる動き。参加者も手製の人形を思い思いに動かすと、あちこちで笑い声が上がった。

おしぼり人形のルーツはよく分かっていない。昭和初期に同市の門司で、昭和30年前後には福岡市・中洲で、料亭の芸者や客が演じていたとの話があるという。

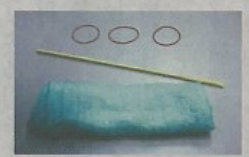
中村さんが最近力を入れているのは、介護施設への慰問活動だ。お年寄りの前で童謡や演歌を歌いながら実演をするほか、おしぼり用タオルや割り箸を入れたキットも配っている。「手先を動かすので認知症の予防に良さそう」と、わざわざ習いに来る介護スタッフもいるそうだ。

色々な動きをさせるだけでも楽しめるが、人形劇のようにせりふを語ったり好きな曲を流したりすると、より盛り上がる。

日舞や能の動きも研究し、技を磨いたという中村さん。ジャズのライブ公演や飲食店の周年記念イベントなどにも引っ張りだこという。「身近にあるもので作れて、子どもからお年寄りまで誰でも楽しめる。想像力を膨らませながら、皆で楽しんでほしいですね」

## 動きユーモラス 作ってみよう

おしぼりを使った宴会芸「おしぼり人形」に挑戦してみよう。北九州市内で教室を開いている中村泰隆さん(72)(福岡県宗像市)に、作り方や遊び方を教わった。



- 準備するもの
- ▼おしぼり用タオル1枚 ぬらして使う
  - ▼割り箸 割って片方の1本を使う
  - ▼輪ゴム3本

- 作り方
- ①おしぼり用タオルをぬらして絞り、テーブルなど平らな所に広げ、手前から半分まで巻く。
  - ②巻いた部分を持って裏返し、残りの部分を①と同じように巻く。横から見ると、S字形になる。
  - ③平らな所に横にして置き、真ん中から手前に向けて折る。おしぼりの中央に当たる部分が

- 頭になる。
- ④首の部分を決め、輪ゴムでしっかり留める。垂れ下がった部分は、外側の2本が両手、内側の2本が両足になる。
  - ⑤外側の2本で「手」を作る。巻きを緩めて中を引っ張り出し、芯にする。反対側も同様にする。
  - ⑥人形の右手に当たる方の芯に割り箸を当て、輪ゴムで固定する。割り箸の右側の先端(A)から5割内側に留めること。

- ⑦人形の左手に当たる方の芯を割り箸の(A)の部分に輪ゴムで留める。
  - ⑧人形の背中の部分に左手の親指と人さし指を差し込んで、両足を下に引っ張り、肩の部分を作る。
  - ⑨顔の部分に表情を作る。真ん中を少し引き出して鼻を作り、指を突っ込んで目と口をかたどる。
- ※操る人が左利きの場合は、(A)が向かって左側に来るように上げると扱いやすくなる。

■持ち方  
利き手で割り箸の長い方を、もう一方の手で人形の背中を持って動かす。割り箸を握ってしまうと操りにくいので、人さし指から小指までの腹に載せ、親指を添えてそっと持つのがコツ。

- 遊び方の例
- ・座らせる
  - ・手を横に動かす
  - ・宙返り
  - ・おじぎをする
- ※お気に入りのポーズのまま数日置くと固まり、置き人形として楽しめる。

- マナーや注意点
- ★店のおしぼりを使う時は、店の人に断りを入れる。
  - ★人が歌を披露する時に合わせて人形を操る時には、事前に承諾を得た方がいい。人形に注目が集まり、不快に思われるケースも。
  - ★遊んだ後は輪ゴムと割り箸を外し、きれいに畳む。おしぼりに感謝しよう。